



コンチネンスケア

# 自立を目指す排尿ケア

NPO法人日コンチネンス協会

コンチネンスジャパン

西村かおる

# コンチネンスとは

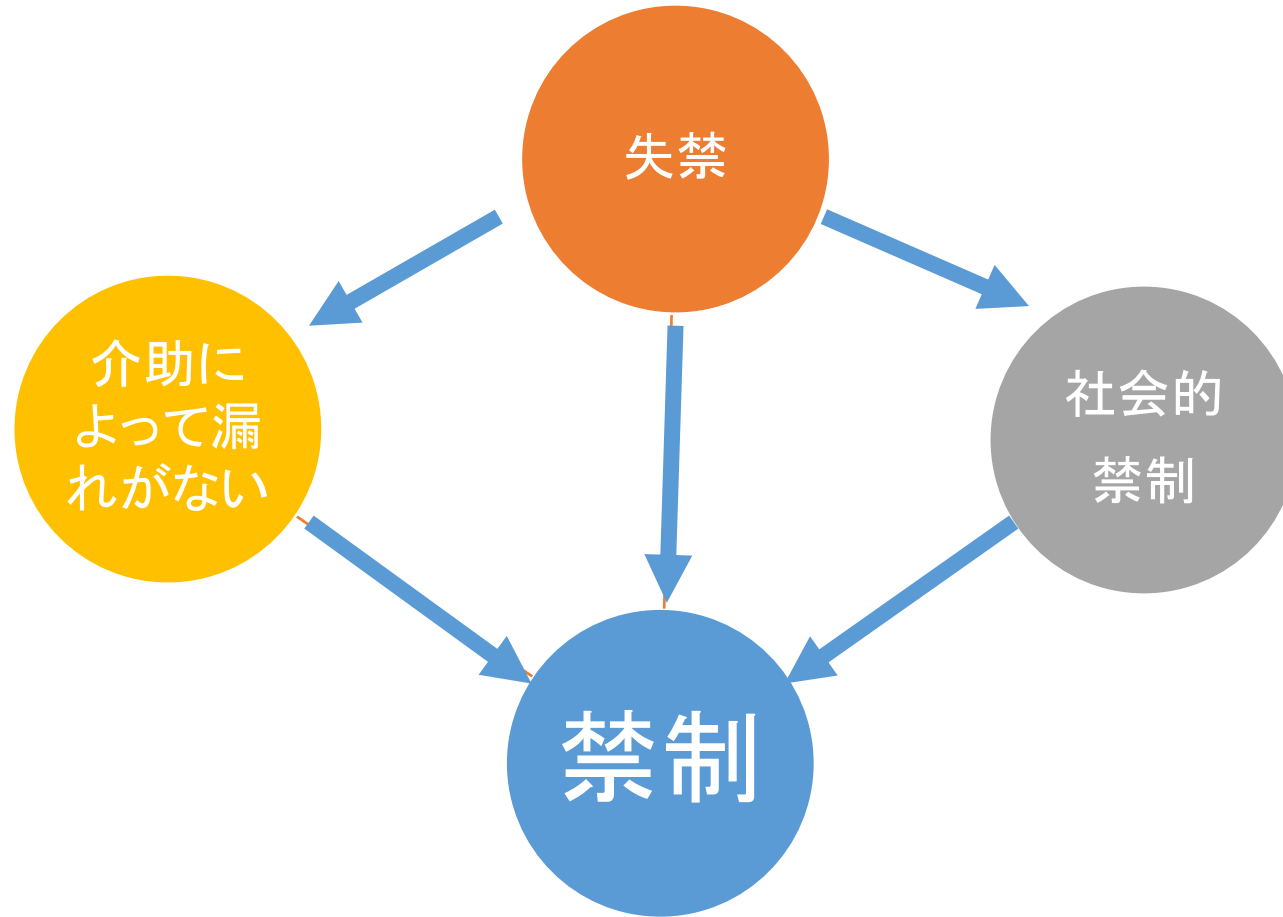
## • 否定形

- Incontinence
- 失禁
- 排泄のコントロールがつかず、漏らしてしまう状態

## • 肯定系

- Continence
- 禁制
- 排泄をコントロールできる状態

# 排尿の自立とは何か



# 各レベルの排尿ケア方法

失禁

- 治療
- ケアアセスメント

社会的禁制

- 適切なパッド、おむつの使用
- カテーテルの使用

介助によって漏れ  
がない

- 適切な誘導
- 住環境の整備

禁制

- 骨盤底筋訓練
- 適正体重の維持
- 適切な水分摂取など

# 正常な排尿 と 頻尿

項目	正常	頻尿
日中排尿回数 (起床後～就寝前)	4～7回	8回以上は昼間頻尿
夜間排尿回数 (就寝後～起床前)	0～1回	2回以上は夜間頻尿 (床に入っても眠れずに 排尿した回数は入らない)
1回尿量	200ml～500ml	常に少なければ、 膀胱容量が少ないか、 残尿を疑う。
24時間尿量	20～25ml/kg(体重)	40ml/kg(体重)以上は 多尿
夜間尿量 (就寝後～起床後1回目)	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者: 33%未満</li><li>・若年者: 20%未満</li></ul>	夜間多尿 <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者: 33%以上</li><li>・若年者: 20%以上</li></ul>

# 排泄用具活用のポイント

1  
排泄動作の自立度  
を高める

2.おむつはできるだけ  
外す方向へ

3.治療も検討する

4.気持ちにゆとりをもつ

5.ケア支援者が用具  
の特性を把握する

# 排泄用具を選ぶ前に

本人・家族と支援者が信頼関係を作る



本人の状況把握とニーズの確認



介護力を確認する



生活改善のイメージをつくり、その方法について計画をたてる

# 残存能力を把握する

## 身体能力

- 寝たきり、座位、立位
- 手先の巧緻性

## 精神能力

- 理解力、判断力
- 用具に対する考え方

## 排泄に関する機能

- 尿意・便意の正確さ
- 排尿、排便状態
- 皮膚の状態



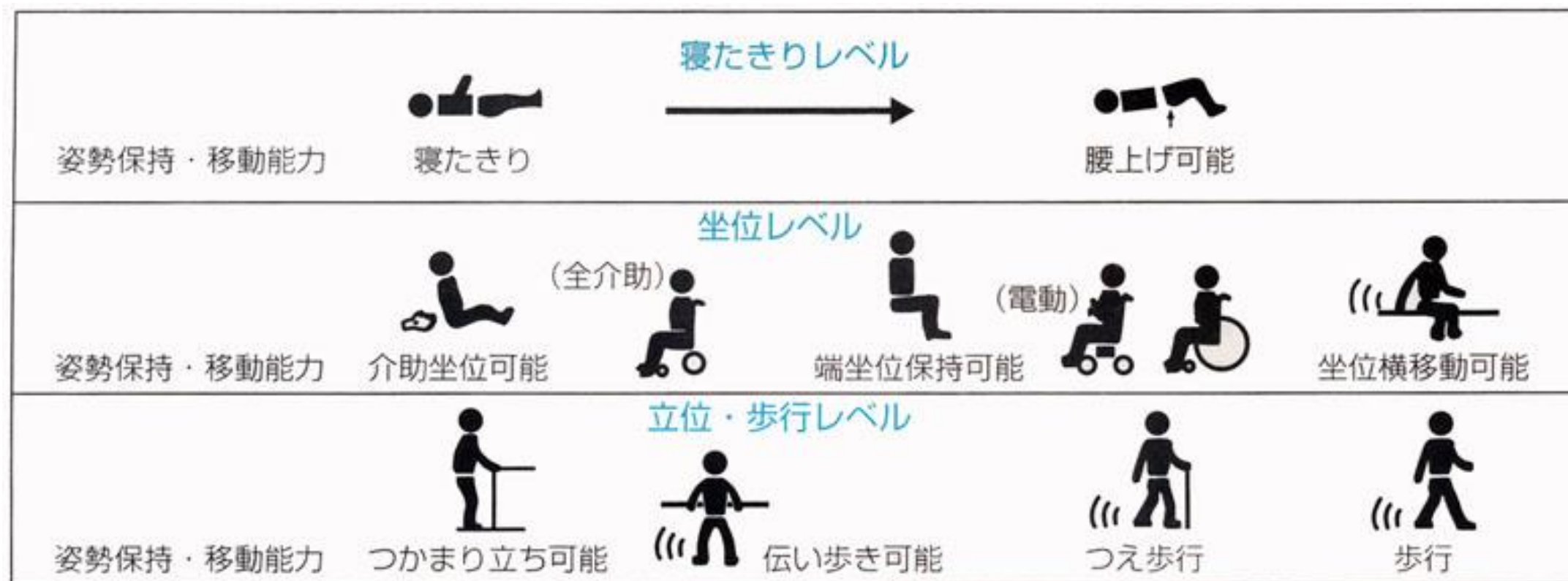
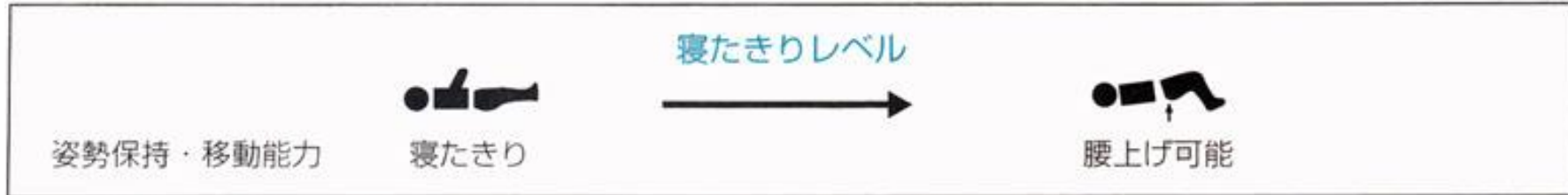


図2-3 | ADLレベルの図示



### おむつ類

- パッド
- テープ型



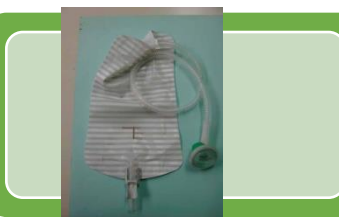
### 手持ち集尿器



### 自動吸引器付き集尿器



- パンツ型収入器



### コンドーム型集尿器



室内トイレ



シャワーキャリー



・パンツ式紙おむつ



座位用収尿器



• 失禁用パンツ



パッド



補高便座

• 手すり

# 夜間多尿の原因と対処

水分過剰摂取

- 適切な水分摂取



薬物性

- 薬物の調整



下肢の浮腫

- 浮腫の軽減

高血圧

- 血圧のコントロール

その他の疾患

- 腎機能、うっ血性心不全、無呼吸症候群などの治療

# 夜間多尿が改善できないための用具利用



夜間多尿用パッド、おむつ

特殊尿器

特殊尿器

コンドーム型  
集尿器

ナイトバルーン

# 各の利点

製品		 <small>特殊尿器 介護保険対応/1割の自己負担で購入いただけます。</small>			
しっかり受けたい	△	○	○	○	◎
尿意を感じたくない	×	×	×	×	◎
肌に尿をつけたくない	×	△	◎	○	◎
就寝時の操作	◎	◎	△	◎	◎
入手のしやすさ	◎	△	△	×	×
安全性	◎	◎	◎	○	×
公的補助	市町村による	介護保険	介護保険	無し	医療保険



コンチネンケア

# コンチネンケアは 前向きなケア

